

# 大島・三宅島の上下変動\*

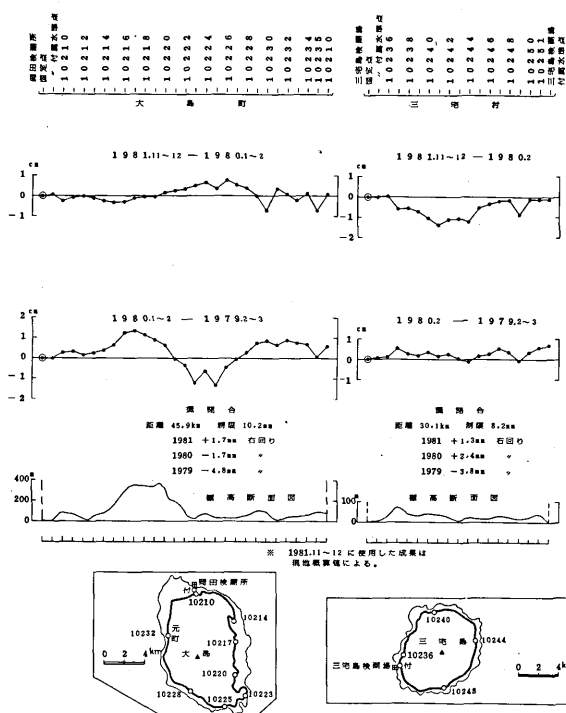
国土地理院地殻調査部

大島・三宅島の最近の上下変動結果について報告する。この測量は、科学技術庁の科学技術振興調整費による「フィリピン海プレート北端部の地震テクトニクスに関する総合研究」で実施されたものである。

第1図左に大島の、右に三宅島の上下変動を示す。上段は1980年1~2月から1981年11月~12月までの約2年間、下段は1979年2~3月から1980年1~2月までの約1年間の変動である。

大島については、1979年からの1年間で島の南部に沈下、東西方向に多少の隆起が見られるが、隆起の一部は地形と相関のある水準測量の誤差と思われる。1980年からの2年間には伊豆半島東方沖地震（1980年6月29日、M 6.7）を含んでおり、この地震の震源モデル計算によると、大島ではBM10232あるいはBM10217付近にくらべて岡田検潮所付近（BM10210）が2 cm 弱沈下する傾向にある<sup>1)</sup>と思われるが、水準測量では有意な変動は検出されていない。

三宅島については、最近2年間では島の北半部が沈降の傾向にあるが、その前1年間では特に顕著な変動はないようである。



## 参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部(1981):伊豆半島東部及び伊豆諸島地域の地殻変動,地震予知連会報,  
26, 177-183